

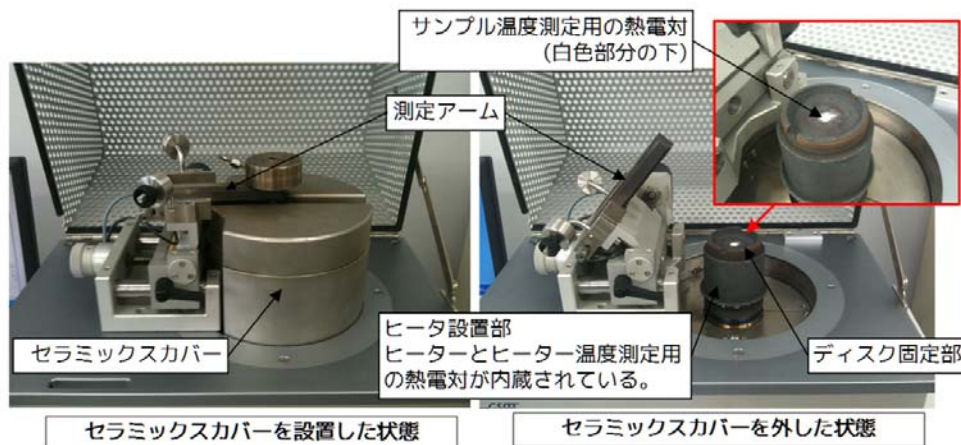
受託分析：高温摩擦摩耗試験

【高温摩擦摩耗試験とは】

高温摩擦摩耗試験は、温度を850度まで加熱可能です。ボールオンディスク法によりサンプル側ステージに固定した試料を加熱します。荷重は、1 N～20 Nまで印加可能です。高温環境での摩擦摩耗の現象は様々な要因が寄与するため、実際の温度に合わせた試験が重要となります。

【試験方法】

ボールをボールホルダに固定し、ホルダを摩擦係数測定アームに固定します。おもりで垂直荷重をボールホルダに印加し、固定治具に取り付けられた試料の上にそのボールホルダーを接触させます。測定を開始すると、ディスクが回転しその時ボールとディスクの間に作用する摩擦力が、アームの水平方向のたわみに変化されます。この変位をアームに取り付けられた変位センサによって計測し、垂直荷重とアームの剛性から摩擦係数として出力します。摩耗量測定は、別途オプションとして表面形状測定による断面積から算出可能です。



【適用範囲】

垂直荷重：0.5～20N、しゅう動タイプ：回転動、回転半径回転動
回転半径：最大20mm (推奨3～5mm)、回転速度：標準最高4～500rpm
ボールサイズ：φ5.5～6.5mm
ディスクサイズ：φ19～19.5,t5mm、φ29～29.5,t5mm
(左記より小さい場合は、スペーサーが必要)
サンプル下面温度：最高850度 (測定面温度と異なる)
環境制御：不活性ガス等の吹付可能。ただし試験環境には酸素・窒素を多く含む。

ナノテック株式会社 表面分析センター lab@nanotec-jp.com

TEL:04-7135-6152(表面分析) / 04-7135-6111(代表) FAX:04-7135-6126

正規代理店：(株)ウエキコーポレーション、リックス(株)